

エシタロプラム錠20mg「JG」の溶出試験

1. 試験目的

エシタロプラム錠20mg「JG」と標準製剤レキサプロ錠20mgとの溶出挙動の類似性を確認するために、「後発医薬品の生物学的同等性試験ガイドライン」に従い溶出試験を実施した。

2. 試験条件

試験法	回転数 (rpm)	試験液	温度 (°C)	試験液量 (mL)	ベッセル数	分析法
回転バスケット法	100	pH1.2(日本薬局方 溶出試験第1液)	37±0.5	900	12	液体クロマトグラフィー
		pH5.0(薄めたMcIlvaine緩衝液)				
		pH6.8(日本薬局方 溶出試験第2液)				
		水				

標準製剤がパドル法50rpmで堆積による溶出率のばらつき及び低下が生じたため、「後発医薬品の生物学的同等性試験ガイドライン」に従い回転バスケット法100rpmで試験を実施した。

3. 判定基準

回転数 (rpm)	試験液	判定基準
100	pH1.2	試験製剤が15分以内に平均85%以上溶出するか、又は15分における試験製剤の平均溶出率が標準製剤の平均溶出率±15%の範囲にある。
	pH5.0	
	pH6.8	
	水	

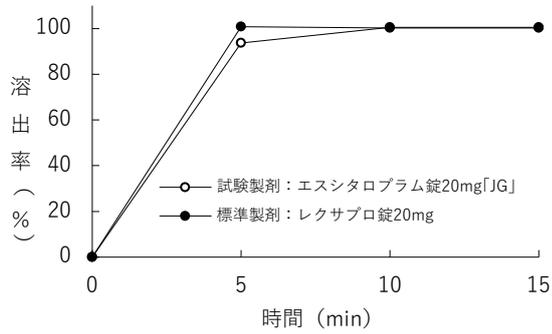
4. 試験結果

すべての試験条件において、判定時点における試験製剤の平均溶出率が判定基準に適合していることが確認された。

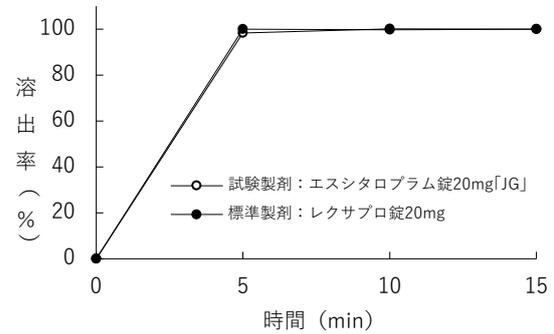
判定時点における平均溶出率

回転数 (rpm)	試験液	判定時点 (min)	平均溶出率(%)			判定
			標準製剤	試験製剤	差	
100	pH1.2	15	100.2	100.6	+0.4	適
	pH5.0	15	100.0	100.0	±0.0	適
	pH6.8	15	100.1	100.4	+0.3	適
	水	15	95.9	98.0	+2.1	適

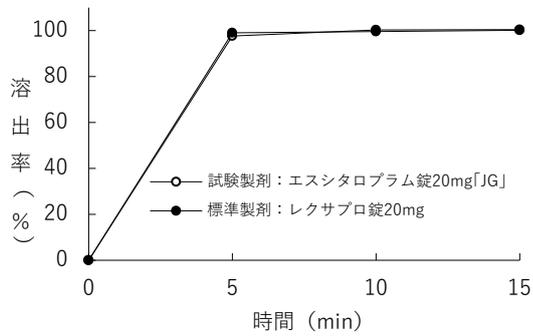
溶出プロファイル
100rpm、pH1.2



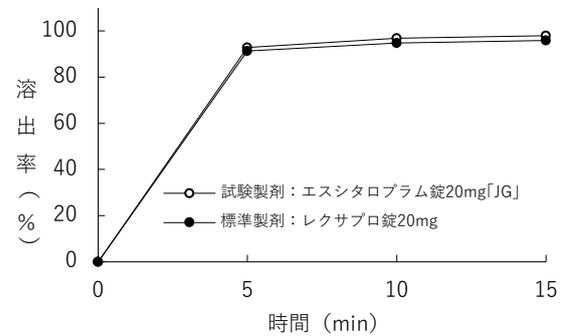
100rpm、pH5.0



100rpm、pH6.8



100rpm、水



5. 結論

「後発医薬品の生物学的同等性試験ガイドライン」に従いエストロプロラム錠20mg「JG」の溶出試験を実施し、すべての試験条件においてガイドラインで定める類似性の判定基準に適合し、標準製剤レクサプロ錠20mgとの溶出挙動の類似性が確認された。

2022年9月

001